

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成21年10月8日)

## 項 目

- 1 鳥取県の経済雇用情勢について  
【経済通商総室(企画調査チーム)】 …… 1
- 2 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について  
【経済通商総室(通商物流チーム)】 …… 3
- 3 「とっとり高度人財『燦然』プラン」人材育成研修の「基金訓練」認定  
について  
【雇用人材総室(人材育成確保チーム)】 …… 4
- 4 鳥取県の産業・企業紹介フェアの開催について  
【雇用人材総室(人材育成確保チーム)】 …… 5
- 5 第25回鳥取県技能祭について  
【雇用人材総室(労働政策チーム)】 …… 6
- 6 「とっとり・しまね企業ガイダンス(広島・大阪)」の開催について  
【雇用人材総室(雇用就業支援チーム)】 …… 7
- 7 企業の工場増設について  
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 8
- 8 「鳥取県進出企業等商談会」の開催結果について  
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】 …… 9
- 9 「とっとりバイオフロンティア」の整備計画等について  
【産業振興総室(産学金官連携チーム)】 …… 10

商 工 労 働 部

# 鳥取県の経済雇用情勢について

平成21年10月8日  
経済通商総室  
企画調査チーム

## 県経済の動向

○県内経済は、生産活動において一部に持ち直しの動きがみられ、下げ止まりの状況であるが、個人消費で弱めの動きが続き、雇用情勢も厳しい状況であることから、総じて厳しい情勢。

- ・需要面 個人消費は、弱い動きとなっている。
- ・産業面 鉱工業生産は、一部に持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用面 雇用情勢は、厳しい状況にある。

## 鳥取県の主な経済指標

### 1 需要面

乗用車新規登録台数は、エコカー減税・補助金等の効果により回復傾向（3ヶ月連続の前年比プラス）にあるが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年割れが続く。また、大型小売店販売額（7月）は、衣料品や身の回り品が買い控えられ不振であったことや食料品で低価格志向から客単価が下落し低調であったことなどから、16か月連続で前年を下回った（店舗調整後）。総じて県内の需要は弱い動きが続いている。

#### 【大型小売店販売額】

		(百万円、%)						(億円、%)	
		21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	21年7月	8月
鳥取県	販売額	4,698	4,819	4,904	4,565	5,708		17,360	
	前年比	△ 11.9	△ 7.3	△ 7.5	△ 8.0	△ 8.0		△ 7.0	
								全国	

(資料：「大型小売店販売概況」経済産業省)

(注) 販売額は全店舗ベース、前年比は店舗調整済。当年と前年の販売額と比較しても前年比とは一致しない。

【その他の消費関係指標の前年比 (%) の推移】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
乗用車新規登録台数	▲17.0	▲19.4	▲13.6	+1.2	+11.0	+12.6
ホームセンター・家電量販店販売額	▲ 2.5	+ 0.9	+ 0.9	▲0.2	▲ 8.8	—

(資料：「乗用車新規登録台数」中国運輸局、「大型小売店販売概況」経済産業省)

### 2 産業面

鉱工業生産指数（7月）は、4か月連続の上昇（季節調整済）。昨年秋の世界同時不況の影響から生産が低迷していた電子部品・デバイス、電気機械等が持ち直していることが主な要因。

生産水準としては、昨年秋の水準（約95.0）から比較すると95%までの水準に回復しているが、依然として低水準で推移している。

#### 【鉱工業生産指数】

		21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	21年7月	8月
鳥取県	生産指数(季調済)	65.5	76.4	78.2	83.0	90.4		82.6	
	前月比(季調済)	△ 0.9	16.6	2.4	6.1	8.9		2.1	
	前年比(原指数)	△ 31.5	△ 15.9	△ 20.6	△ 10.4	△ 5.7		△ 22.7	
								全国	

平成17年=100

(資料：「鳥取県鉱工業指数月報」県統計課、「生産統計速報」経済産業省)

### 3 雇用面

有効求人倍率（8月）は、0.46倍（季節調整済）と前月と同水準となり、依然として0.5倍を割り込んでいる。

【人材不足の主な業種】 保健師・助産師等、販売類の職業、接客・給仕の職業、保安の職業、福祉関連など

【雇用の場が不足の主な業種】 社会福祉専門の職業、一般事務員、商品販売の職業、自動車運転、電気機械組立修理など

		21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	21年7月	8月
鳥取県	有効求人倍率	0.44	0.46	0.46	0.45	0.46	0.46	0.42	0.42
	前年同月	0.69	0.69	0.70	0.70	0.68	0.67	0.88	0.85
	雇用保険受給者	5,405	5,776	6,171	6,013	5,817	5,277		
								全国	

(資料：「労働市場月報」鳥取労働局)

【平成22年3月新規高等学校卒業予定者の求人・求職状況】（鳥取労働局；9月25日発表）

- ・求人倍率は0.40倍で、前年同期（0.60倍）を0.20ポイント下回る。⇒平成16年8月月末の0.34倍以来の低水準
- ・求人数は485人で、前年同期（850人）に比べ42.9%（365人）減少。⇒平成5年以降の統計で最低の水準

**参 考**

○ 企業倒産

企業倒産（8月）は件数が5件で前年に比べて1件減少。負債総額は2億2,800万円の前年に比べて8億9,000万円減少しているが、高い水準で推移している。

鳥 取 県		(件、百万円)					(件、百万円)			全国8月
		1～3月	4～6月	7月	8月	小計	9月	10～12月	年間合計	
平成21年	件数	24	14	6	5	49				1,241
	負債総額	5,676	1,465	1,510	228	8,879				284,213
平成20年	件数	12	23	14	8	57	4	18	79	1,254
	負債総額	3,995	16,976	2,452	1,118	24,541	380	4,317	29,238	867,979

(資料：「企業倒産状況」東京商工リサーチ)

○ 雇用調整助成金（実績ベース）

雇用調整助成金は、事業所数、対象者数、支給金額ともに大幅に増加。

		(金額：千円)						(金額：百万円)	
		21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	21年7月	8月
鳥取県	事業所数	69	162	175	247	334		64,355	
	対象者数	4,763	6,701	7,647	8,260	10,974		2,551,967	
	支給金額	147,470	259,835	216,805	282,148	343,945		75,592	
全国									

○ 緊急保証制度の利用状況

緊急保証制度の利用状況（8月末累計）は、承諾金額433億7,293万円（前年同期比801.8%増）と大幅に増加。

(件、千円、%)

区 分	年度	東 部			中 部			西 部			合 計		
		件数	金 額	前年比	件数	金 額	前年比	件数	金 額	前年比	件数	金 額	前年比
保証承諾	前年 同期間	119	2,782,550	-	55	746,170	-	78	1,880,800	-	252	5,409,520	-
	H20.10 ～H21.8	844	17,083,801	614.0	307	6,232,802	835.3	815	20,056,327	1,066.4	1,966	43,372,930	801.8

※対前年比は、金額ベース

○ 設備投資の動向

設備投資の動向は、「実施した」とする事業所は、平成21年4～6月期は17%、7～9月期は20%、10～12月期は18%（見通し）となっており、依然として、設備投資に慎重な姿勢を続けている。

〔設備投資した事業所の割合〕

26%（H20.10～12）→23%（H21.1～3）→15%（H21.4～6）→22%（H21.7～9）→17%（H21.10～12）見通し

(資料：「鳥取県経営者見通し調査」鳥取県統計課)

○ 各機関の景況分析

○日本銀行松江支店（10月公表）

山陰両県の景気は、なお、厳しい状況にあるが、下げ止まっている。

- ・個人消費は、低調な動きが続いているが、一部に、各種政策効果や大型連休効果から強めの動きがみられる。
- ・生産は、回復している。
- ・雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
- ・所得情勢は、厳しい状況が続いている。
- ・公共投資は、高めの水準を維持している。
- ・住宅投資は、高めの水準が大きく下がり下がっている。

○鳥取財務事務所（7月公表）

県内経済は、雇用情勢が引き続き悪化しており、設備投資は減少見通しとなっているものの、個人消費が下げ止まりつつあるほか、生産活動も低水準ながらも持ち直しに向けた動きがみられるなど、厳しい状況が続いているなかで、一部に下げ止まりの動きがみられる。

- ・個人消費は、下げ止まりつつある。
- ・生産活動は、低水準ながらも持ち直しに向けた動きがみられる。
- ・雇用情勢は、悪化している。
- ・企業収益（21年度通期）は、増益見通し。

## 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について

平成21年10月8日  
 経済通商総室  
 通商物流チーム

### 1 運航状況全般

- ◆9月23日現在で、境港～東海間を24往復、東海～ウラジオストク間を12往復。1回も休止なし。
- ◆延べ乗客数は14千人を超え、旅客面では好調を持続。しかし、7～8月中は韓国人ツアー客を中心に毎便300～400名余りの乗客でほぼ満席であったのに対し、9月に入ってから乗客は平均で150名程度と減少傾向にある。また、相対的に日本人、ロシア人乗客が増加。
- ◆貨物の動向については、東海～ウラジオでの動きが顕在化しつつあるものの、大口の荷主誘致が引き続き課題。

### 2 初就航からの運航実績（6月29日～9月23日）

<暫定集計>

項目	合計	境港～東海	東海～ウラジオ
運航回数（往復）	35回	23回	12回
乗客数（人）	13,776	12,517	1,259
平均乗客（人）	394	544	105
貨物量	38TEU（207トコンテナ換算）＋パルク貨物		

### 3 最近の主な動き

#### (1) 貨客船と米子ソウル便を組み合わせた旅行商品を発売

それぞれの航路の利用促進と共存に繋げるための新たな取組みとして、県内旅行社が企画して販売中。（10月16日から2泊3日の韓国ツアーで、初日の往路に貨客船を利用、2日目は江原道やソウル市内を観光、最終日に米子ソウル便で帰国。定員は20名で料金は45,000円。）

#### (2) ソウル市の有名百貨店において鳥取県物産展を開催（10月16日～22日）

日本酒ブームが続く韓国において、鳥取の地酒や水産・農産加工品、和菓子など民間企業10社が鳥取県の物産を展示即売。一大市場であるソウルでの売り込みを図る。

- 【参加予定企業】
- ・あぶい蒲鉾（ちくわ、蒲鉾製造）
  - ・(有) いけがみ（団子等和菓子）
  - ・(有) AONケミカル（梨酢）
  - ・(株)かばはうす（飲食店）
  - ・(株)越河（かに加工食品）
  - ・(株)島谷水産（鮮魚）
  - ・千代むすび酒造（株）（酒、リキュール）
  - ・中井酒造（株）（日本酒）
  - ・(株)はりまや（蒟蒻、納豆製造）
  - ・丸京製菓（株）（どらやき製造）

### 4 利用促進に向けた今後の主な取組

#### (1) 高松市における環日本海航路利用促進懇談会の実施（10月13日）

環日本海経済活動促進協議会と連携し、環日本海貨客船航路のPR及び意見交換等を行うことを目的として、四国で初めて開催。

#### (2) 大阪商工会議所貿易部会会員の境港視察（10月15日）

貿易部会の会員40名余りが参加し実施予定。港湾施設の視察、貨客船の船内見学などを行う。

#### (3) 京都工業会会員の境港視察（10月23日）

製造業などの会員企業20名余りが参加し実施予定。当日境港で開催されている「中海圏域産業技術展・展示商談会」を視察するとともに、港湾施設、貨客船の船内見学などを行う。

#### (4) 岡山市で第2回目の環日本海航路利用促進懇談会の実施（10月30日）

6月中旬に当地で行った懇談会における参加者の反応が良かったことから、今回は、ロシアビジネスに着目した内容を勉強会的に実施し、ロシア貿易の促進に繋げることを目的としている。なお、神戸市での利用促進懇談会開催も検討中。

# 「とっとり高度人財『燦然』プラン」人材育成研修の「基金訓練」認定について

平成21年10月8日  
雇用人材総室  
人材育成確保チーム

鳥取県地域雇用創造協議会が実施する「とっとり高度人財『燦然』プラン」人材育成研修の受講者のうち、雇用保険を受給していない方が、国の「緊急人材育成・就職支援基金」による「訓練・生活支援給付金」の支給対象となるよう「基金訓練」の認定申請を行い、9月28日付けで研修の一つが認定されました。

研修名	研修期間	研修会場	認定・申請状況	
ビジネススタッフ育成研修	財務中級コース(中部)	11/16~2/17	倉吉市(スイコー商会)	9/28 認定済み
	財務中級コース(西部)	11/26~2/26	米子市(米子情報処理センター)	申請済み・10月上旬審査
	情報中級コース(中部)	12/7~3/9	倉吉市(ほうき塾)	
機械設備メンテナンス技術者育成研修	東部第3回	12/1~3/4	鳥取市(ポリテク鳥取+実習企業)	
	中部第3回	12/1~3/4	倉吉市(倉吉体育文化会館+実習企業)	
	西部第3回	12/1~3/4	米子市(ポリテク米子+実習企業)	

※上記のほか、研修内容を確定した研修は順次申請。ただし、「期間が3ヶ月以上の研修で開講2ヶ月前に申請」等の認定要件に合致する研修。

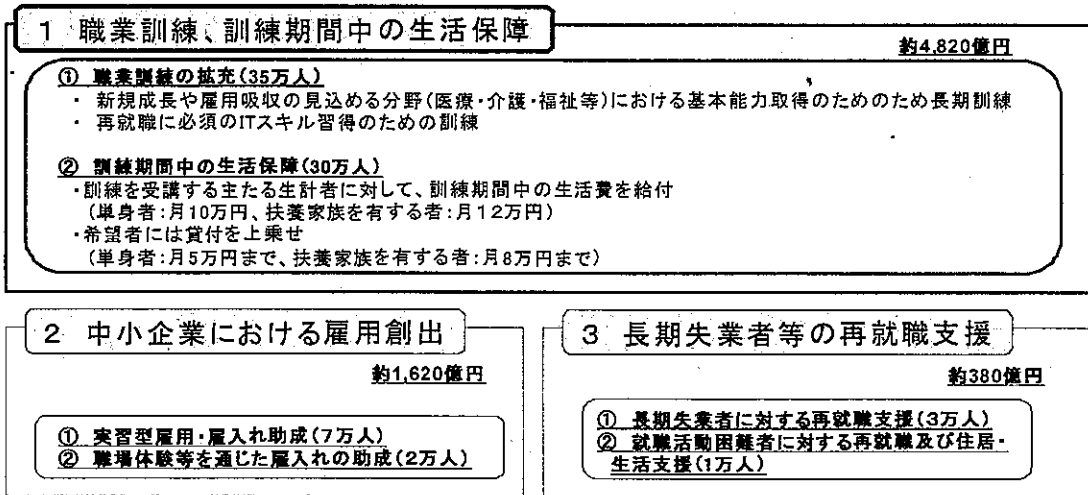
【厚生労働省資料を引用し作成】

国は基金7千億円の一部(4千億円強)を執行停止する方針だが、その他は執行される見込み。

## 緊急人材育成・就職支援基金の概要

基金総額7,000億円

- 雇用保険を受給できない者(非正規離職者、長期失業者など)等に対する新たなセーフティネットとして、今後3年間 基金を造成し、ハローワークが中心になって、職業訓練、再就職、生活への支援を総合的に実施。



※ 1~3のほか、帰国を希望する日系人、研修・技能実習生への帰国支援を実施

### <参考>

- ※1 県単独で「とっとり高度人財『燦然』プラン」人材育成研修の受講者のうち、雇用保険を受給していない方に受講奨励金(日額3,530円)支給する制度を創設。(国「訓練・生活支援給付金」の支給対象者は県受講奨励金の対象外。)
- ※2 「基金訓練」は7月31日から認定が開始され、9月30日までに全国で約600件、鳥取県分で3件(当研修含む)が認定済み。他に県内で申請中は4件(本協議会研修含む)。

## 鳥取県の産業・企業紹介フェアの開催について

平成21年10月8日  
雇用人材総室  
人材育成確保チーム

大学生等の県内への就職を促進するため、県内企業が自社の概要や特徴を学生に紹介する「鳥取県の産業・企業紹介フェア」を米子工業高等専門学校、鳥取環境大学及び鳥取大学で開催します。

このフェアは、平成19年度から毎年開催しており、今年で3回目となります。

### <今回の開催概要>

(開催順)

開催日時	会場	対象者	参加企業	主催
10月14日(水) 午後1時20分 ～4時20分	米子工業高等専門学校 合同講義室ほか	米子工業高等専門学校学生	16社 ※教室(講義)形式によるプレゼン	鳥取県 米子工業高等専門学校
11月12日(木) 午後2時40分 ～6時5分	鳥取環境大学 多目的ホール	鳥取環境大学生など	12社 ※教室(講義)形式によるプレゼン	鳥取県 鳥取環境大学
12月14日(月) 午後1時 ～5時(予定)	鳥取大学 大学会館	鳥取大学生など	25社(予定) ※ブース形式による説明+教室(講義)形式によるプレゼン	鳥取県 鳥取大学

### <参考：これまでの開催実績>

年度	開催日	会場	参加企業数	参加者数
平成19年度	平成19年9月28日(金)	鳥取大学	19社	69人
	平成20年2月12日(火)	鳥取環境大学	6社	26人
	平成20年2月27日(水)	米子工業高等専門学校	10社	85人
平成20年度	平成20年10月11日(土)、 12日(日)	鳥取大学	35社	116人
	平成20年10月16日(木)	米子工業高等専門学校	26社	181人
	平成20年11月13日(木)	鳥取環境大学	15社	93人

#### ◆参加学生の主な声

- ・パンフレットやホームページだけでは分からない企業の情報が得られた。
- ・名前も聞いたことのない企業について知ることができた。
- ・企業で働いている人の生の声が聞けて、企業の雰囲気なども分かって良かった。
- ・県内の企業の話を知ることができる機会はあまりないので、非常に良い機会だった。

#### ◆参加企業の主な声

- ・早い時期に学生への説明(PR)ができて良かった。
- ・「会社名を知ってもらおう」という点で良い機会になった。
- ・会社名を知ってもらった。学生にこのような形でPRする機会がなかったので、実現できて良かった。

## 第25回鳥取県技能祭について

平成21年10月8日  
経済通商総室  
労働政策チーム

生活や産業を支える技能の重要性を広く県民に理解してもらい、技能尊重の社会的気運を高めることを目的として、第25回鳥取県技能祭が以下のとおり開催されます。

※各出展ブースの設営、運営はもちろん、会場の備品調達、設営、装飾までの全てを技能士会等関係者で行う手作りのイベント。

### 1 主催

鳥取県、鳥取県職業能力開発協会、鳥取県技能士会連合会

### 2 開催日、会場

開催日：平成21年10月31日（土）9:30～16:00、11月1日（日）9:30～15:00

会場：ポリテクセンター鳥取（鳥取市若葉台南七丁目1-11）

### 3 主な内容

(1) 開会セレモニー（10/31 9:30～9:40 ポリテク正面玄関）

開会宣言、テープカット

(2) 表彰式典（10/31 9:50～10:10 ポリテク視聴覚教室）

技能検定功労者等の鳥取県知事表彰の授与（職業能力開発協会長による表彰、鳥取県技能士会連合会長による表彰、技能士ステッカーの第1号交付式も同時実施）

(3) 催しもの（ポリテク体育館、中庭、実習棟等）

- ・ 各技能士会による展示・即売（ミニ庭園展示、銅板しぼり展示、こて絵展示等）
- ・ 技能士による実演（板金技能士による銅板しぼり実演、調理技能士によるかつら剥き実演等）
- ・ ものづくり体験教室（ガーデニング教室、すのこづくり教室、和菓子作り教室等）
- ・ 優れた技能者及びとっとりマイスターの作品及びパネル展示等

#### 参考 その他の技能振興施策

##### 1 技能士制度・技能士の周知を目的とするもの

- ① スポットCM（15秒）を県内ケーブルテレビ局で、10月中に延べ約2,100回放送し、技能士制度の周知を図る。
- ② 技能士が在籍していることを証するステッカーを希望する事業所に交付（10月末から開始）。
- ③ 県政だより10月号の技能士特集「匠の「技」ここにあり」において、技能士制度の周知を図るとともに、建築大工技能士及び造園技能士を紹介。
- ④ 日本海ケーブルネットワークで放送中の若年就業者紹介番組「ユメイロ」で10月中の毎土日（31日を除く）、建築大工技能士氏及び造園技能士を紹介。

##### 2 優れた技能を有する者の顕彰を目的とするもの

- ① 県内の優れた技能を有する者（4人を予定）を「優れた技能者」として知事が表彰（10月28日）。
- ② 県内の製造業において優れた技能を有する者（5人を予定）を「とっとりマイスター」として知事が認定（10月28日）。

## 「とっとり・しまね企業ガイダンス（広島・大阪）」の開催について

平成21年10月8日  
雇用人材総室  
雇用就業支援チーム

山陰両県合同で初めての取り組みとして、両県出身の在住者が多い関西・山陽地域において、合同でIJUターン就職促進のための企業ガイダンスを開催します。

### 1 合同開催のメリット

- 両県に亘って店舗展開する企業も多く、中海圏域を中心として県域を跨ぐ就職も多いことから、同一会場での開催が求人企業、求職者双方にとって効率的であること。
- 両県合同で開催することで、広報効果が高まること。
- 経費負担の軽減、運営体制の充実が図られること。

### 2 ガイダンスの概要

#### (1) 主催

財団法人ふるさと鳥取県定住機構、財団法人ふるさと島根定住財団

#### (2) 期日・会場

##### (広島会場)

期日 10月31日(土)

会場 基町クレド11階「NTTクレドホール」

(広島市中区基町6-78)

##### (大阪会場)

期日 11月14日(土)

会場 大阪国際会議場(グランキューブ)3階「イベントホール」

(大阪市北区中之島5-3-51)

※時間は両会場とも13:00~16:00(受付12:00~)

#### (3) 対象者

平成23年春大学等卒業予定者をはじめとする、鳥取県または島根県で就職を希望する者

#### (4) 出展企業数(10月1日現在)

広島会場 40社(鳥取県18社、島根県22社)

大阪会場 48社(鳥取県30社、島根県18社)

#### (5) その他

企業ブースの他にIJUターン相談コーナー等を設置予定。



## 企業の工場増設について

平成21年10月8日  
産業振興総室  
企業立地推進チーム

株式会社大真空（本社：兵庫県加古川市）が携帯電話等に使用される水晶発振器の増産を目的として、鳥取事業所の生産設備の増設を行うことになり、これを支援する鳥取県及び鳥取市との間で、協定書の調印式を以下のとおり行います。

### 1 企業概要及び投資計画

- (1) 名称 株式会社大真空
- (2) 代表者 代表取締役社長 長谷川 宗平
- (3) 所在地 兵庫県加古川市平岡町新在家1389
- (4) 資本金 193億4,483万3千円
- (5) 従業員 794名
- (6) 業務内容 一般水晶振動子、水晶発振器等の製造
- (7) 投資計画

①投資理由：株式会社大真空が製造する水晶発振器は携帯電話等に使用されているが、納入先のスマートフォン等が好調であることから、これに対応するため生産設備の増強を行うもの。

\*増産の前後で、250万個/月の生産能力を拡大。(1,100万個/月→1,350万個/月)

②増設予定地：株式会社大真空 鳥取事業所敷地内（鳥取市若葉台南7-3-21）

③投資内容：水晶発振器の製造のための生産設備の増設

④投資額：約6億円

⑤新規雇用者：10名

⑥操業開始：平成21年10月

- (8) 行政支援 企業立地事業補助金による支援  
鳥取県正規雇用創出奨励金支給による支援

### 2 調印式の時期等

- (1) 日時 10月15日（木） 午後3時30分～4時
- (2) 場所 知事公邸 第1応接室
- (3) 出席者 株式会社大真空 代表取締役社長 長谷川 宗平  
鳥取市 市長 竹内 功  
鳥取県 知事 平井 伸治

## 「鳥取県進出企業等商談会」の開催結果について

平成21年10月8日  
産業振興総室  
新事業開拓チーム

このたび、鳥取県に進出された企業に対し、県内企業の優れた技術・製品をもっと知ってもらい、県内企業への調達割合の拡大促進を目的に、以下のとおり「鳥取県進出企業等商談会」を鳥取市内で開催しました。(主催：(財)鳥取県産業振興機構)

- 1 会期 平成21年9月14日(月) 午後1時～5時まで
- 2 会場 ウェルシティ鳥取(鳥取厚生年金会館)
- 3 概要 進出企業等17社(下記のとおり)及び県内受注企業43社が参加  
延べ105の商談を実施

### ○進出企業等(発注側企業)リスト

1	(株)鶴見製作所米子工場 所在地：米子市夜見町(本社大阪)	10	ライツライン(株) 所在地：鳥取市北村(本社東京)
2	嶋田プレジジョン(株)米子工場 所在地：西伯郡南部町(本社京都)	11	ダイヘン産業機器(株) 所在地：鳥取市用瀬町(本社大阪)
3	三伸工業(株)鳥取智頭工場 所在地：八頭郡智頭町(本社兵庫)	12	(株)日立メタルプレジジョン 所在地：鳥根県安来市
4	サングレス(株) 所在地：西伯郡大山町(本社大阪)	13	(株)ミタチ 所在地：兵庫県姫路市(本社)
5	茶谷産業(株)SBC事業部鳥取営業所 所在地：鳥取市興南町(本社大阪)	14	気高電機(株) 所在地：鳥取市気高町(本社)
6	イナバゴム(株) 所在地：鳥取市千代水(本社大阪)	15	三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株) 所在地：鳥取市立川町(本社)
7	ユーシー産業(株)鳥取工場 所在地：鳥取市青谷町(本社大阪)	16	テガ三洋工業(株) 所在地：鳥取市南吉方(本社)
8	ウエニ工業(株) 所在地：倉吉市上神(本社大阪)	17	(株)鳥取メカシステム 所在地：鳥取市若葉台(本社)
9	尾池ファインコーティング(株) 所在地：倉吉市秋喜(本社京都)		

### 4 成果 成約4件(10月2日時点)、商談継続中多数

#### (1) 進出企業の声

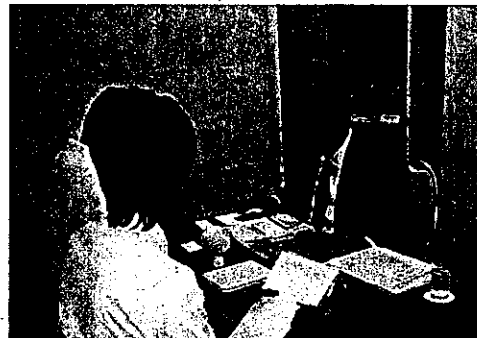
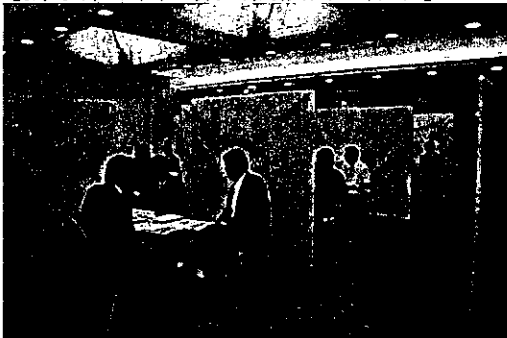
- ・情報収集等大変有意義であった。年1～2回開催して欲しい。
- ・今回参加し、今まで地元に住ながら地元企業をよく知らなかったことが良く分かり有意義だった。

#### (2) 受注企業の声

- ・今回の商談会は実りのあるものだった。毎年開催して欲しい。
- ・業種的に少ない仕事量の中、参加させていただき感謝。
- ・今回の商談会企画は非常に良かった。零細企業にとって他社と出会う良い機会となった。
- ・今回の商談会で商談に繋がる機会は無かったが、勉強させて貰うことが出来て良かった。
- ・これまで特定の企業しか知らなく、今回の参加で他社を知ることができ底辺が広がった。

※同機構のコーディネーターが事前に発注側ニーズを詳しく聞き取り、当日のミスマッチが無いよう入念に準備した結果、商談会のその場で商談が成立した例もあり、大変効果的であった。

### 【鳥取県進出企業当商談会の様子】



### 5 その他

当日は、(株)シマノが指名した県内企業6社と(株)シマノとの商談会も実施。

## 「とっとりバイオフロンティア」の整備計画等について

平成21年10月8日  
産業振興総室  
産学官連携チーム

### 1 現行の整備スケジュール等

「とっとりバイオフロンティア」整備のため、「地域産学官共同研究拠点整備事業」（文部科学省・H21補正予算）へ応募し、現在、採択結果待ちの状況。

H21.4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22.1	2	3	H22年度	H23.4
基本計画			国事業 の募集 、採択			実施設計 (基本設計含)			建設			バイオフロンティア オープン	

#### ※基本計画の概要

建設予定地 鳥取大学米子キャンパス内  
工事概要 新築工事 鉄筋コンクリート造  
規模 延べ床面積約2,500㎡（6階建）  
工事費 総額2,525百万円（建築工事1,626百万円、分析機器等899百万円）  
主な施設機能 貸実験室、飼育室、共通実験室、研修室 等

### 2 整備財源

#### (1) 活用予定事業

「地域産学官共同研究拠点整備事業」（文部科学省・H21補正予算(695億円)）

- ・目的 地域経済の活性化を図るため、地域の特徴を活かした産学官連携の共同研究や人材育成などに取り組むための拠点を整備（各都道府県に1拠点を整備）
- ・事業主体 JST（(独)科学技術振興機構）
- ・役割分担 JST : 建物の建設（設計含む）、建物の所有  
地元地域：土地の提供、施設の運営
- ・公募・採択スケジュール
 

公募期間	H21.7.31～H21.8.20
書類・ヒアリング審査	H21.8.21～H21.9月下旬
採択結果公表	H21.9月下旬～10月

#### (2) 事業見直し状況（H21.10.6現在）

補正予算見直しに関する報道において、本JST事業は文部科学省の削減対象(2,000億円超)に含まれるとされているが、詳細は不明。

### 3 事業見直しに関連した動き

全国知事会から、文部科学省に対して地域産学官共同研究拠点整備事業の維持を要請〔概要〕

- 1 日時 平成21年9月29日（火）12:40～12:50
- 2 要請先及び要請者
  - 要請先 文部科学大臣（+文部科学副大臣、文部科学大臣政務官）
  - 要請者 埼玉県知事、神奈川県知事、富山県知事
- 3 要請内容

「地域産学官共同研究拠点整備事業」は、産学官が連携し地域活性化の核として不可欠なネットワークの中心となる重要な拠点を構築するものであり、地方の創意工夫を生かした形で実施できるよう維持すること。